

■中国：国産のデジタル制御システム（DCS）を採用した原子炉が商業運転

中国広核集团有限公司(CGN)は2018年7月12日、中国産のデジタル制御システム(DCS)を採用した陽江原子力発電所5号機(108万kW:PWR)が商業運転を開始したと発表した。国産のDCSを採用した原子炉の商業運転は中国内初である。同社の関係者は「安全性を大幅に改善した国産DCSを採用している」とコメントしている。なお、同5号機は、既に運転している1~4号機(フランスの技術に基づいて開発した第2世代+PWR「CPR1000」:各108万kW)を改良した「ACPR1000」(第3世代の技術特性を有する炉)である。